



# ハメ ドゥースト



みんな ともだち!



Tehran  
Japanese  
School

学校便り「ハメドゥースト」  
2023年度 第1号  
2023年5月2日発行

## 自分らしさを発揮する1年に

～ 2023年度のスタートにあたって ～

テヘラン日本人学校 校長 西田隆之



「おはようございます」  
「よろしくお祈いします」。  
新学年が始まった4月13日、子どもたちからはこんな声が聞かれました。その声からは、子どもたちの学校や先生たちへの期待感が伝わってきました。先生と楽しそうに話をする様子、久しぶりに会ってすぐに遊びを始める姿からは、先生との距離がとても近く、9歳の年齢差が自然に交じり合う家族的なお友達関係がこの学校にあることを実感します。

始業式では、以下の詩を紹介しました。

バラ二本、一本は花大にして、一本は小。大は大を誇らず、小は小なるを恥じず。力の限り咲けるが美し。

私の郷土の国語教育者、芦田恵之助先生の言葉です。異国の地テヘランで生活している子どもたちにとって、人と比べる意味の無さは、肌で感じ取っていることでしょう。しかし、どんな状態であれ、それぞれの姿のままでもいいとは思いません。人と違っているだけではなく、「力の限り咲く」ことで美しさは際立ちます。これからのグローバル社会を牽引する人へと成長していく子どもたちには、自分の持てる力は力の限り発揮してほしいと願っています。

始業式から2週間を過ぎた習字の時間、子どもたちは自分の片付けが終わると教室に帰ってしまい、私が一人で机を片付けようとしました。すると、何も言わずに、一緒に手伝ってくれる子がいました。「手伝ってくれて、ありがとう」と話すと、「校長先生が、自分のできることは自分でしなさいと言われました。それから、僕はそうしようと思いました」と答えてくれました。これまでも、そしてこれからも次代を切り開く力は、こうした小さな一つ一つの行動から始まると思っています。それにしても、始業式の話の後、すぐに行動で示そうとする姿に感心しました。素直な気持ちで話を聞き、他人の行動は関係なく、自分が正しいと思ったことを行動に移すことが、自分らしさを磨き、力の限り咲く人に成長できると考えています。私たち教職員は、テヘラン日本人学校の児童生徒9名の自分らしさが発揮できるよう、一丸となって取り組めます。昨年度同様、学校への支援をよろしくお願いいたします。

バラ二本、一本は花大にして、一本は小。大は大を誇らず、小は小なるを恥じず。力の限り咲けるが美し。

## 希望を抱きながら

☆☆2023年度 入学式☆☆

4月13日に小学部1名の入学式を挙行了しました。在イラン日本国大使館大使相川一俊様をはじめ、たくさんのご来賓の方々と8人の子どもたちの祝福を受け、少し恥ずかしそうにしていたのですが、その初々しい姿が会場内を和やかな雰囲気にしてくれました。これからの学校生活を自分らしく過ごし、楽しく学んでほしいと思います。



## よろしくお祈いします

2023年度新派遣教員

校長 西田隆之

兵庫県から参りました、西田隆之です。子どもだけでなく、保護者もアットホームな関係性のある学校は、世界でもここだけではないかと思ひます。世界一幸せになれる学校を目指していきます。どうぞよろしくお祈いします。

教諭 尾花道子

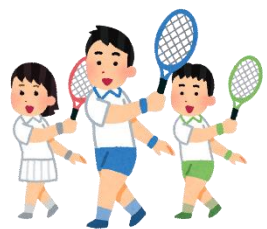
今年度、栃木県より派遣されてきました、尾花道子です。木々が生い茂り、道端で咲くバラの花の力強さに元気をもらっています。子どもたちと一つずつ考え、ともに前に進んでいきたいと思ひます。よろしくお祈いします



## 【5月行事予定】

- 1日 全校朝会
- 2日 テニス学習①
- 3日 集会 臨時職員会議
- 8日 委員会
- 9日 テニス学習②
- 10日 定例職員会議
- 15日 クラブ①
- 16日 テニス学習③
- 23日 校外学習※1、2年  
宿泊学習(～25日)

※4年生以上



新たな仲間を2名迎え入れてスタートした2023年度。今年度も本校教育の充実発展のためにご支援よろしくお祈いいたします。